

2013年2月11日。

横浜の大さん橋ホールで神奈川県大会新人戦「2013金太郎杯」が開催されました。
横浜北支部からは選手23名が参加し、6名が入賞しました。

幼年重量級 優勝 椎橋景瞳



努力の男、椎橋景瞳が念願の初優勝。

初戦で対戦する体格の大きな選手に備え、クラス後の自主トレでは2学年上の選手とスパーリングをやり込み、対格差を克服するために毎朝のランニングも欠かさなかった。

試合では猛練習で培った実力を発揮し、初戦を突破すると一気に決勝まで駆け上がった。

決勝では圧巻の一本勝ちで優勝。

幼稚園児とは思えない質実剛健な選手がそこにいた。

小学1年重量級 準優勝 田村周聖



高い勝率を誇る田村周聖が手堅く入賞。

2回戦で対戦した50kgの相手と真っ向から打ち合って勝利した試合は圧巻。

どんな相手と戦っても怯むことを知らない闘争本能は一種の才能だろう。

決勝ではその闘争本能が空回りした感があったが、これから経験を積んで闘争本能を乗り越えさせるようになったら全国でもトップクラスの選手になるだろう。

小学2年轻量級 優勝 西村 健



週1回のクラスしかない綱島オアフクラブ道場から出場の西村健が初優勝。
今まで何回か試合に挑戦したが、なかなか結果が出なかった西村。
だが彼は諦めることなく新横浜、仲町台への出稽古を重ね、着実に実力を伸ばしていった。
試合では動きの速さと、的確に技を当てる技術で危なげなく決勝へ進出。
決勝戦でも慌てることなく淡々と技を当てて優勝を決めた。
3月末に建物の取り壊しの為、閉館となるオアフ道場の有終の美を飾った。

小学2年重量級 第3位 鄭 永優



誰よりも早く道場に来て、クラスの前後に自主トレを欠かさなかった鄭永優が初入賞。
稽古では決して手を抜かない真面目さが、過去の試合では慎重さとなってしまい結果に結びつかなかったが、今大会では実力を存分に発揮することができた。
1,2回戦は延長戦にもつれ込んだが、十分な稽古に裏付けされたスタミナは延長戦でこそ強さを発揮。試合を重ねるごとに動きが良くなっていった。
準決勝では相手の手数に惜しくも判定負けを喫したが、その実力は全国大会でも見劣りしないことを証明した。

小学3年中量級 第3位 河本 琉



センター北道場の河本琉が初入賞。
高い運動能力、諦めない精神力と才能はあるが、今までの試合では焦りが出てしまい実力を発揮せずに敗

退してしまっていた。

それでも腐ることなく新横浜への出稽古などを重ね、全国トップクラスの先輩たちと手を合わせることで今大会では落ち着いて実力を発揮できた。

入賞を経験したことで、これからの試合では自身を持って実力を発揮することだろう。

小学5・6年重量級 優勝 飯田竜斗



ケガのため戦線を離脱していた飯田竜斗が復活の優勝。

出場選手の中では小柄だが、試合が始まると動きの速さと破壊力のある攻撃で相手を圧倒。

全ての試合をワンサイドで優勝を決めた。

完全復活どころか、さらにパワーアップして戻ってきた。

昨年がケガのため、ほとんど試合に出られなかった飯田は試合に飢えている。

3月の武魂杯、4月の国際大会と連戦となるが、溜めに溜めたエネルギーを爆発させるに違いない。

✕ 閉じる